

# NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

# SOPHIA

OCT.2007

Vol.15 No.4

(第56号)

FUKUOKA SHIKAGAKUEN



## CONTENTS

地域医療に  
貢献する病院へ 2

新設診療科紹介 3

COLLEGE NEWS 4  
共用試験実施  
学術フロンティア研究シンポジウム

「健康まるごと福岡歯科学園」  
3大学合同シンポジウム 5

FROM PARENTS 6  
保護者からのメッセージ

FROM THE ALUMNI  
ASSOCIATION 7  
同窓会だより

HI FROM CLINICS 8  
クリニックからこんにちは

第39回歯学体結果 9  
オープンキャンパス実施

平成20年度入試日程 10

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園  
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

福岡歯科学園

# 総合医療センターとして地域医療に貢献する病院へ

## ●●● 病院長メッセージ ●●●



本院は昭和48年の開院以来、医科と歯科の総合医療センターとして地域医療に貢献する病院づくりに努めてまいりました。平成17年には福岡歯科大学附属病院から福岡歯科大学医科歯科総合病院と名称を変更し、さらに今年4月には耳鼻咽喉科と口腔顔面美容医療センターを開院いたしました。現在、歯科は14診療科、医科は6診療科で、総合医療センターとしての機能がますます充実した陣容とな

っております。

口腔顔面美容医療センターは審美歯科を担当する歯科医師と顔の美容を担当する形成外科の医師が診療にあたり、顔と口元の総合的な整容治療により、患者様のQOLの向上を目指した医療を提供しています。形成外科の診療は福岡大学医学部の協力を得て、現在週2日(月曜日と水曜日)行っております。今後は、このような歯科と医科の連携がアンチエイジング治療にも新しい展開をもたらし、より社会のニーズに応えた医療が実現できるものと期待しております。また、耳鼻咽喉科の守備範囲は口腔と隣接しており、医科の中でも特に歯科との関連の深い分野であります。歯科と耳鼻咽喉科の連携によって患者様により良質な医療を提供できる

福岡歯科大学医科歯科総合病院 病院長 石川 博之

場面も多いものと期待されます。

以上のような新設診療科に加え、今年7月には本院のIT化の推進として、病院情報システムHospital Information System(HIS)を稼働いたしました。これにつきましては、また機会をあらためまして詳しくご紹介させていただきます。

さて、本院では、「安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努めること」を病院の理念とし、1.患者様を尊重した医療、2.高度医療の提供、3.地域医療への貢献、4.痛みのわかる医療人の育成を病院の基本方針としています。患者様のニーズにあった医療を実現するため、平成14年にはサービス・マナー向上委員会を設置し、アンケート調査や待合室の意見箱の設置など、いつも患者様の意見や要望を知ることができる体制を整えています。

また、来年1月には日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審を予定しており、現在その準備を進めております。これは外部の専門機関に評価を受けることによって、地域の患者様により安心して本院で治療を受けていただくことを目指したものです。

今後も総合医療センターとしてさらに地域医療に貢献し、また患者様にますます信頼される病院づくりを目指して一層努力する所存ですので、何卒ご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 福岡歯科大学医科歯科総合病院 診療案内

<b>診療時間</b>	平日 9:00～18:00 土曜 9:00～13:00	<b>形成外科</b>	月曜 13:00～18:00 水曜 9:00～18:00	<b>休診日</b>	日曜日・祝日 年末年始	<b>入院患者様への 面会時間</b>	平日 13:00～19:00 休日 10:00～19:00
-------------	--------------------------------	-------------	---------------------------------	------------	----------------	-------------------------	----------------------------------

福岡歯科大学医科歯科総合病院は、総合歯科および各専門科が連携したトータルな歯科診療と内科・循環器科、心療内科、外科・消化器科・肛門科、麻酔科(ペインクリニック)、形成外科、耳鼻咽喉科の医科診療など優れた歯科医師・医師で構成された総合的な医療センターです。歯科を中心に様々な病気に対応するため、20の診療科が設けられており、それぞれの専門医が高度な治療を行っています。

<b>[4F]</b>	障害者歯科 ..... 心身に障害のある患者様の歯科診療を行います。
麻酔科(ペインクリニック) ..... 安全で確実な全身麻酔や精神鎮静法を行います。また各種神経痛や神経麻痺などの治療も行います。	

<b>[3F]</b>	総合歯科/口臭クリニック ..... 口腔内外の診査と全身的な健康状態に留意して、総合的な一般的歯科治療を行います。 ●口臭クリニック/口臭に悩む人の治療や相談を行います。
高齢者歯科/訪問歯科 ..... 全身的な疾患のある高齢の患者様の歯科診療を行います。 ●訪問歯科/通院できない患者様へ訪問歯科診療を行います。	
保存(むし歯)・歯周病科 ..... むし歯、歯の痛み、歯周病(歯槽膿漏)の治療、歯の審美的回復を行います。	
補綴(入れ歯)科 ..... 歯の一部が欠けたところや歯の抜けたところを冠や入れ歯などで治療し、口腔の機能を回復させます。	
口腔インプラント科 ..... 失った歯の代わりに顎の骨の中に人工の歯根を埋め、その上に人工の歯を固定する方法で口腔機能を回復させます。	
口腔顔面美容医療センター ..... 「よく噛める」「よく話せる」のはもちろんのこと、美しい歯と口元で“明るい笑顔”を回復します。	
矯正歯科 ..... 歯ならびや噛み合わせが悪いところを矯正します。先天異常や口蓋裂などに関連した歯列不正の治療も行います。	

<b>[2F]</b>	口腔外科/スポーツ歯科 ..... 口の中や顎などにおこる病気やケガの治療を行います。 ●スポーツ歯科/運動能力向上につながるスポーツ外傷の予防と治療を行います。
小児歯科 ..... 小児を専門に、むし歯やその他のお口の病気の予防と治療を、お子様の成長を見守りながら総合的にを行います。	

<b>[1F]</b>	放射線科 ..... 病気の正しい診断のため、各種エックス線撮影をはじめ、CT、MRIなど、最新の医療機器で画像診断を行います。
内科・循環器科 ..... 循環器内科および一般内科を中心に診療します。	
外科・消化器科・肛門科 ..... 消化器外科および一般外科を中心に診療します。	
心療内科 ..... ストレス等による病状を心身両面から治療します。	
形成外科/口腔顔面美容医療センター ..... できもの切除、美容のためのレーザー脱毛、傷跡やシミ治療などを中心に行います。	
耳鼻咽喉科(耳・鼻・のど) ..... 耳鼻咽喉および頸部の診療を行います。	

学園キャンパス内での「禁煙運動」を推進しています。

## 【新設診療科紹介】

### 耳鼻咽喉科

文=今村 明秀 (助教)

科長=(教授) 原田 博文  
助教=市川 大輔、今村 明秀



#### 沿革

耳鼻咽喉科は平成19年4月1日に開設された、福岡歯科大学医科歯科総合病院で最も新しい診療科です。科長は福岡大学医学部耳鼻咽喉科学教室から原田博文が就任致しました。その他、助教が2人在籍し、計3人で診療に当たっています。

#### 診療内容

耳鼻咽喉科の一般診療を行っており、午前、午後とも担当医師が新患・再来の診療を行っています。

当科は首から上で、脳や眼、骨などを除いた頭頸部という幅広い領域の疾患を対象としています。その幅広い領域の中でも、科長の専門分野である耳科・鼻科疾患を中心に対応しています。

耳科の領域では、初発症状としては聞こえが悪くなる難聴や耳鳴りのことが多いため、ま

ず、顕微鏡や内視鏡を用いた鼓膜の詳細な観察からはじまり、耳のレントゲン、聴力検査などを行い、診断・治療に当たっています。また、回復がなかなか困難な難聴では、精密検査(CT検査やことばの聞き取りの検査など)を行って、手術療法や補聴器の適合などを施行し、聞こえの改善に努めています。8月には、鼓室形成術という、非常にレベルの高い手術を行った実績があります。

鼻科の領域では、アレルギー性鼻炎、嗅覚障害、慢性副鼻腔炎、外傷などの疾患に対して診療に当たっています。花粉やダニなどの抗原を調べる免疫学的検査、嗅覚検査、CT検査などを行い、薬物療法や手術療法を行い疾患の根治・改善を図っています。

その他、咽喉頭領域や頸部の領域にも力を入れて診療に当たっております。

#### 今後の展望

当科の診療の大きな柱の一つとして、聞こえ、バランス、あじ、におい(当科的には聴覚・平衡感覚・嗅覚・味覚)についての診療があります。最近、高齢化社会の進展に伴い、聞こえやバランス、あじ、においなどの障害を訴える高齢者も増えてきています。このような感覚の障害は日常生活の質の低下を来たします。そのため、感覚障害に対する診断・治療が必要となってきます。しかし、現状では、神経自体の障害による感覚

障害には有効な治療法がほとんどなく、また、高齢者においては検査の結果の判断に困ることや検査自体が行えないことも少なくありません。今後、高齢者の聴覚・平衡感覚・嗅覚・味覚障害に対する新たな治療法や検査法の確立が重要となってきます。現在、我々は高齢者の客観的な聞こえの評価と補聴器の装用の検討を行っています。今後、他の感覚についても種々の検討を行い、高齢者に対する、聞こえ、バランス、あじ、におい診療の更なる充実を図って参ります。

最後に、当科は福岡歯科大医科歯科総合病院の一助となるよう、耳鼻咽喉科一般の診療にも当たって参りますので、一層の御支援をお願いします。



### 口腔顔面美容医療センター

文=長島 義之 (講師)

センター長=(教授) 松浦 正朗  
講師=長島 義之  
助教=片山 知子  
非常勤=小坂 正明、衛藤 明子(形成外科)



#### 沿革

口腔顔面美容医療センターは平成19年4月に開設されました。以前から顔面外傷などで連携をとっていた福岡大学病院形成外科から医師2人を迎え、医科と歯科が総合的に診療を行う全国的にも例のないセンターとなっています。これは口腔医学の確立を目指す福岡歯科大学の新しい試みとしても注目されています。現在歯科分野は3階の総合診療室の中で、形成外科は1階口腔顔面美容医療センターにて診療を行っていますが、常に情報交換を行い積極的な連携を図っています。さらに口腔外科、矯正科など関連各科とも緊密な連

携のもと診療を行っています。

#### 診療内容

顔全体の美容を考える時、歯科医だけでは診療の対象を下顔面のみとせざるを得ませんが、形成外科医と連携することで顔全体を対象とすることが可能となりました。口腔内の審美的な補綴治療やホワイトニングに加えて、顔のしみやほくろとり、アンチエイジング、更なる美容形成まで行うことができ、機能を含めた総合的な顔面の美容医療を行っています。まだ開設して間がなく、歯科はインプラントを含めた審美的補綴診療を、形成外科は脱毛を主訴とした患者さんが多いのが現状ですが、顔全体のトータルケアを希望する方も少しずつ増えてきています。

#### 今後の展望

一般にホワイトニングやラミネートベニヤへの関心が高まる中で、大学病院として審美歯科を取り入れているところはまだまだ少ないのが現状です。さらに美容医療の中には科学的な根拠の乏しいものも少なくありません。新しい分野だけに学生教育を含め学問的な体系を構築していくこと、科学的根拠を示すこと、専門家を育

成していくことが今後必要です。医科と歯科ではお互いの知識が不足していることは否めません。美容医療が本当に患者さんのメリットとなるためには、各専門医がそれぞれの立場からトータルな知識を身につけていくことで治療オプションを増やし、より専門的な高度な医療を提供することが不可欠です。

また一般開業医の先生方からの美容に対する関心も少しずつ高まってきています。専門的な治療が必要であれば、地域医療の中で積極的に病診連携に努めていきます。

高齢社会を迎えるにあたって、健康で充実した生活を送るアクティブなお年寄りが増加し、健康長寿に貢献することができるよう努力していきたいと思えます。



## 共用試験の実施

登院前の5学年94人は、平成19年度共用試験として7月1日に技能・態度を試すOSCE、7月6日には知識を試すCBTを受験しました。昨年度から本格実施されたこの共用試験は、CBTでは、受験者のコンピュータに合計320設問がランダムに出題され、内容は、臨床実習までに身につけておく必要のある基礎と臨床の基本的問題です。OSCEは「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる課題と学習目標」に準拠して行われ、「課題と学習目標」の中で、各大学が共通で準備できる必要最小限のステーション（実技試験の6つの場面）について実施されます。

## 学術フロンティア研究シンポジウム

7月10日、学術フロンティア研究シンポジウムが開催されました。このシンポジウムでは、福岡歯科大学が現在行っている「疾患における遺伝的、環境的要因の相互作用とその制御」についての研究成果が報告されました。それとともに特別講演として「ヒトゲノム解読の生物学・医学へのインパクト」（講師：慶應義塾大学名誉教授、清水信義氏）が行われました。なお、10月29日（月）に「疾患と老化を制御する遺伝

的安定性」についての国際シンポジウムが行われる予定です。

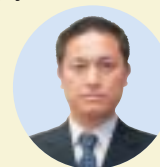


慶大・清水名誉教授による特別講演

## 新任教職員紹介

りきまる てつや  
力丸 哲也 准教授

福岡医療短期大学  
歯科衛生学科



略歴

福岡歯科大学歯学部卒。同大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。同大学助教を経て、平成19年8月1日福岡医療短期大学・歯科衛生学科准教授に就任。博士（歯学）。福岡県出身

抱負

これまでの臨床経験を生かし、時代のニーズに合った歯科衛生士の教育・育成に微力ながら貢献したいと思います。また、短大の特色である「口腔介護」を歯周治療の立場から発展させたいと考えています。

ながしま てつや  
永嶋 哲也 准教授

福岡歯科大学  
医療人間学講座  
医療倫理学分野



略歴

九州大学文学部卒。同大学大学院文学研究科博士課程を単位取得退学。同大助手を経て、平成19年9月1日福岡歯科大学准教授に就任。文学修士。福岡県出身

抱負

倫理学や哲学は、目に見えない価値を扱います。自分自身で考えるための手だてを紹介したいと思います。将来50年後くらいに、皆さんに学んでよかったと思ってもらうのが目標です。

## 福岡医療短期大学特色GP 「口腔ケア実践教室」開催

8月19日、福岡医療短期大学307教室及び1階コミュニティホールで「機能に関わる口腔ケア」と題し、3月に引き続き第2回目の「口腔ケア実践教室」が地域の介護職員などを対象に開催され、基調講演（嚥下障害がある方へのアプローチ—VF検査—、介護施設における口腔ケアの重要性）と実技講習（食べる機能を理解する“食べてみよう、飲んでみようパート2”、お互いに学ぶ口腔ケア）が行われました。これは、平成18年度に福岡医療短期大学が文部科学省に選定された「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」による補助事業の一つで、選定された事例（要介護者の口腔介護を実践できる歯科衛生士並びに介護福祉士の養成教育）を広く社会に情報提供する目的で開催されました。



実技講習「食べる機能を理解する“食べてみよう、飲んでみようパート2”」

## アカデミック・カフェ（出前講義）開催

西日本新聞社および「福岡で学ぼう2007」実行委員会（福岡市他）の共催により「アカデミック・カフェ」（出前講義）が7月に開催されました。これは、福岡都市圏の17大学が日替わりで福岡市・天神、中洲川端のカフェで出前講義を行ったもので、本学は7月10日に「カフェ ポーヴェルジェ」（博多区下川端町）で開催しました。当日は、コーヒーを飲みながら和やかな雰囲気の中で、講義が行われました。本学の講義内容は、「口腔医学の最前線～美容医療と審美歯科～」（講師：口腔外科学分野助教 泉喜和子氏、形成外科非常勤講師 衛藤明子氏）でした。



講義終了後、参加者から質問を受ける講師たち

## 平成19年度福岡歯科大学公開講座

福岡歯科大学が主催する一般市民を対象とした公開講座「お顔とお顔の若返り～口腔と顔面の美容とアンチエイジング～」が9月8日、福岡県歯科医師会館（中央区大名）で開催されました。

いつまでも美と若さを保った活力ある人生のために、「より美しく、より若く」をテーマに、平成19年4月に開設した口腔顔面美容医療センターの内容等を含めて3人の講師が講演を行いました。今回の受講者は116人で、参加者からは予定していた時間を超える程の活発な質疑応答がありました。

写真左から池邊哲郎・口腔外科教授、大慈弥裕之・福岡大学病院形成外科教授、松浦正朗・口腔インプラント科教授。



## 福岡医療短期大学公開講座

福岡医療短期大学主催（共催：歯科衛生学科同窓会「瑞樹会」・保健福祉学科同窓会・福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯科衛生士部）の公開講座「高齢者の生活支援～元気で口から食べたい～」が、9月30日に福岡医療短期大学307教室で開催されました。歯科衛生士、介護福祉士、看護師、ホームヘルパーなど146人が参加しました。在宅老所や訪問看護ステーションにおける高齢者の生活支援での食べることの大切さ、摂食・嚥下のメカニズム、サンシャインプラザでの口腔ケアの実践についての講演と総合討論が行われました。



参加者から質問を受ける講師たち

## 健康まるごと福岡歯科学園

医療・保健・福祉だけでなく、より広い分野での地域貢献を果たし、地域との交流を目的に「健康まるごと福岡歯科学園」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

日時：平成19年10月27日(土)、28日(日)

場所：福岡歯科大学

イベントⅠ「田の歯科祭」お笑いライブ、クラブ対抗歌合戦、地域の子どもの太鼓等

Ⅱ「歯科・歯科無料相談」(10月28日(日)のみ) 専門医があなたの疑問に答えます。

Ⅲ「からだの科学展」 見る、聞く、体験する人体の科学展

Ⅳ「講演会」(10月28日(日)13:00～)

テーマ:「スーダンからの熱きメッセージ」

講師:川原 尚行

(NPO法人ロシナンテス理事長・医師)

Ⅴ「介護施設見学・介護無料相談」

介護の悩みはケアマネージャーまで

Ⅵ短大企画「ご用心!お口と介護」

○問合せ・申込先

福岡歯科大学企画課

TEL:092-801-0411 FAX:092-801-3678



昨年度 「からだの科学展」

## 地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

地下鉄七隈線沿線の中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学による市民の健康づくりを目指した地域市民対象の「3大学合同シンポジウム」が「メタボリックシンドロームをいかに克服するか」をテーマに下記のとおり開催されます。

日時：平成19年11月3日(土) 13:00～

場所：中村学園大学西1号館10階大講義室

講演 1.「咀嚼と健康」 高橋 裕教授(福岡歯科大学)

2.「心臓・血管病の予備軍としてのメタボリックシンドローム」

松永 彰准教授(福岡大学)

3.「食事と健康ーメタボリックシンドローム予防の視点からー」

城田 知子教授(中村学園大学)

4.公開討論(聴衆からの質疑応答)

○問合せ・申込先

中村学園大学学事課

TEL:092-851-2531

FAX:092-841-7762



昨年度 福岡大学において

## 第34回福岡歯科大学学会総会

日時：平成19年12月9日(日) 9:00～17:30 場所：福岡県歯科医師会館

○シンポジウム 「口元の美しさ」

1)基調講演:口もとをより美しく見せる演出法

資生堂ビューティーソリューション開発センター 矢野 裕子

2)保存的な審美歯科治療

熊本市開業 1期生 川岸 俊明

3)審美を考慮したインプラント補綴

熊本県宇城市開業 4期生 吉永 修

4)顔の老化と抗加齢医学の現状

福岡大学病院形成外科 教授 大慈弥 裕之

○招待講演:前歯部の審美補綴

上海交通大学口腔医学院 教授 張建中

※その他、一般演題(口演・ポスター)の発表を行います。

○会費は無料。

また、日本歯科医師会生涯研修事業による単位が5単位取得できます。

○問合せ先:福岡歯科大学学生会務局

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

Tel:(092)801-0411 E-mail:gakkai@college.fdcnet.ac.jp

## 早良区共働モデル創造支援事業

地域の課題解決のため早良区の共働モデル創造支援事業として、平成18年度に続き平成19年度も福岡歯科大学では、科学の楽しさ、不思議さを子供達に伝えるため小学生高学年を対象にして、学生ボランティアも参加した「科学教室」(於:四箇田公民館)を開催しています。

日程、テーマ、担当は次のとおりです。

①9月8日「アイスクリームを作ってみよう」(黒水健治准教授)

②10月13日「歯並べゲーム」(佐藤敦子教授)

③12月1日「人の細胞や組織の姿を顕微鏡で見てみよう」(谷口邦久教授)

また、福岡医療短期大学も9月19日に短期大学を会場にして田村小学校の6年生全員の生徒さんと田村校区老人会の地域の方を対象に『健康と食育』について講話を行い、短大学生も参加しての体験授業等を行いました。

## 海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
冠橋義歯学	大学院生	徳富 健太郎	【骨粗鬆症モデルマウス及びノーマルマウスの下顎骨、大腿骨の骨代謝回転の分析】のテーマで留学	ノースカロライナ大学 (アメリカ)	自:H19.6.1 至:H19.8.31
口腔外科学	助教	泉 喜和子	The 12th AO cranio-maxillofacial course Korea 講習会に参加	ソウル (韓国)	自:H19.7.22 至:H19.7.26
矯正歯科学	教授	石川 博之	第10回台湾口腔矯正歯科学会で基調講演	台北 (台湾)	自:H19.7.28 至:H19.7.30
総合歯科学	助教	鈴木 奈央	第7回国際口臭学会総会(The 7th international conference of international society for breath odor research)にて発表および研究打ち合わせ	シカゴ (アメリカ) トロント (カナダ)	自:H19.8.21 至:H19.8.29
口腔インプラント学	教授	松浦 正朗	第6回北京日中口腔インプラントセンターにて発表および上海交通大学口腔医学院インプラントセンター張志勇教授と研究打ち合わせ	北京・上海 (中国)	自:H19.8.24 至:H19.8.29
口腔インプラント学	准教授	城戸 寛史	「Nobelguideの臨床応用」第6回北京日中口腔インプラントセミナーにて講演	北京 (中国)	自:H19.8.24 至:H19.8.27
内科学	准教授	堺 孝明	European society of cardiology(欧州心臓病学会)にて発表	ウィーン (オーストリア)	自:H19.9.1 至:H19.9.7
冠橋義歯学	助教	片瀨 三千綱	The 29th annual meeting of the American society for bone and mineral researchにて発表	ホノルル (アメリカ)	自:H19.9.15 至:H19.9.21
冠橋義歯学	大学院生	徳富 健太郎	The 29th annual meeting of the American society for bone and mineral researchにて発表	ホノルル (アメリカ)	自:H19.9.15 至:H19.9.21

【福岡医療短期大学】

所属	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
歯科衛生学科	准教授 准教授 助教	廣瀬 武尚 松尾 忠行 貴島 聡子	国際交流推進(姉妹校東釜山大学訪問)	釜山 (韓国)	自:H.19.9.13 至:H.19.9.15
歯科衛生学科	教授	緒方 稔泰	国際交流推進(アメリカ研修)	ロスアンゼルス (アメリカ)	自:H.19.9.15 至:H.19.9.29

# 保護者からのメッセージ FROM PARENTS



佐々木 猛 = 文  
福岡歯科大学

「もうすぐ先生と  
呼ばれるみなさんへ」

次女が福岡歯科大学の4年生になり帰省したとき等の会話で歯学部の子らしく感じる昨今である。父兄後援会での大学側の説明等を聞いていても、福利厚生を始め国家試験合格をサポートしてくれている様子がうかがえ、頼もしい限りである。国家試験合格という歯科医師のスタートラインへ立たせて頂けると信じている。

さて私たち歯科医師は診療室で先生と呼ばれている。自分の親より年配の方からも先生と呼ばれている。そしてそれに慣れてしまっている。果たして先生と呼ばれるほどの人物であるかどうかなどは関係ない。一般の診療所では院長の決定は絶対である。従業員はもちろん患者さんも院長の診断、治療方針、それが経営方針にもつながり、診療所の経営状態の浮き沈みにつながっていきます。大学を卒業して間がない若い歯科医師がこのような環境(周りに自

分の違いを正してくれる人がいない)に置かれ、自分は偉いと勘違いしてしまうこともあるかもしれない。私たちは歯科医師である前に、地域の皆さんと一緒に生活する住民であることを忘れないで、患者さんに接していかなければいけません。

学生の皆さんも自分の常識が、他人にとっての非常識と思われぬように注意して頂きたい。その為には学生時代に所属しているクラブ活動等を生涯学習の場として卒業してからも、地域の方達と一緒に活動し、自分の常識と一般の常識にずれがないか修正する場として利用し、このような活動も学生時代に終わりでなく歯科医師となったときがスタートラインであることを認識して頂きたい。



大石 昌弘 = 文  
福岡医療短期大学

「よい社会人をめざして」

5期生として福岡歯科大を卒業して24年が過ぎました。福岡歯科大学附属歯科衛生専門学校が開校したのは、3年生在学中であったと思います。当時、同じ歯科医療について学ぶ仲間が学園内にいることを心強く感じた覚えがあります。私が福岡県八女市内の実家で開業したのは昭和61年ですが、その年に誕生した次女がその後身である福岡医療短期大学歯科衛生学科でお世話になるとは感慨深いことです。

さて、私が開業医として過ごした年月を振り返るだけでも世の中はあらゆる分野で様変わりしました。情報交換の手段をみても、25年前は携帯電話すらない頃で、いったいどうやって友人、家族をはじめ周りとの連絡をとりあっていたのやら…。また、当時人気の出始めた“サザンオールスターズ”を聴くにもLPレコードとカセットテープの時代でした。今、音楽はインターネットからダウンロードし、端末の中には膨大な量を取り込むことができるようになっています。このよう

な事例を引くまでもなく、物質や技術等は飛躍的進歩を遂げてきましたが、現在私たちの生活はこの流れと逆シンクロするように歯科界、医療業界と限らず格差社会などといわれる厳しい時代を迎えています。

短大では、「就職率100%」と保証していただきますが、就職するための資格があることを、社会で現実に生活できることとイコールさせなくてはいけないと思いませんか?これからは君たち一人ひとりが、「生活していく中で何かしら社会に還元できる人間になる。」という自覚を持っていただきたいのです。社会はそれを求めていますし、自己実現してこそ生きている実感が得られるのではないのでしょうか。

先ず学園の先生方や職員の方々のサポートを含め、恵まれた環境に感謝の心を持って学習に取り組みましょう。この学園で充実した学生生活を送ることで自分自身の未来を広げてください。私たち保護者はそんな君たちを常に応援しています。頑張れ、福岡医療短大生諸君!!

## 福岡歯科大学父兄後援会 支部懇談会終了

平成19年度福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会は、7月28日から8月19日にかけて全国17会場で開催され、無事日程を終了しました。各支部の総会の後、本部役員・大学からの現況報告などが行われ、個別面談が実施されました。支部懇談会で提出された質問・要望については、9月29日に開かれた父兄後援会と大学の報告会で協議・検討されました。



現況を説明する勝俣辰也父兄後援会長

## 歯学部学生 シティ・プラザ訪問

8月29日、福岡歯科大学学生会学術文化部の学生が介護老人保健施設サンシャインシティと介護老人福祉施設サンシャインプラザを訪れ、「野に咲く花のように」「赤とんぼ」「翼をください」などを歌い、特別参加の大学院生は見事な詩吟を披露し喝采を浴びていました。ビンゴ大会では、入所者の方は学生たちと一緒に、読み上げられる数字に一喜一憂するなど、楽しく過ごしました。



ビンゴ大会での1コマ

## 福岡医療短期大学・保健福祉学科 施設実習報告会

7月13日、福岡医療短期大学305教室で保健福祉学科2年生の実習報告会が行われました。介護施設での5週間の実習の成果を発表し、それぞれが習得した内容について1年生も交えて事例検討を行いました。報告者は実習した施設の紹介や担当した入所者の介護計画とその実施内容について、スライドや写真を使って発表し、改めてコミュニケーションの重要性を実感したこと等を報告しました。



実習について報告する学生

# From The Alumni Association

## 福岡歯科大学同窓会緊急講演会「これからのリスクマネジメント さあ あなたはどうする？」



講師 平田 創一郎先生

平成19年7月8日、都久志会館4階会議室において緊急講演会「これからのリスクマネジメント さあ あなたはどうする？」をテーマに開催いたしました。

厚生労働省は、本年4月1日より医療法の改正に伴い、歯科診療所においても安全管理体制の整備を義務づけ、また都道府県に医療安全支援センターを設置し、苦情、相談への対応や医療安全の確保に関する必要な情報提供等の機能を明確化しました。

我々、医療に携わる者として可及的に安全対策に心がけていかなければなりません、より安全な歯科治療を患者様に提供するためにも、今回どのような経緯で改正されたのか、また、我々が今後どのような具体策を講じなければならないのか、を知

ることが必要と思われまます。

そこで、今回医療法に詳しい元厚生労働省の平田創一郎先生と、元西武百貨店でお客さま相談室長として数々の苦情に対応され、歯科関係の苦情にも精通されている関根眞一先生をお願いをし、緊急講演として企画いたしました。

平田創一郎先生は、在職中、医療安全対策の改正に携わった方で、平成12年4月山口県厚生労働大臣時に医療安全対策推進室が創設され、平成14年から順次、特定機能病院・病院・国立病院と医療安全対策が拡充され、平成17年6月今後の医療安全対策についての検討がなされ、本年4月にすべての病院・診療所・助産所がその対象となったとのことでした。また、今回の安全対策の基本的な考え方が、ハインリッヒの法則にあり、その要素であるヒヤリハットを防止することで医療事故を未然に防ぐことができるという観点から、医療事故防止対策として、医療安全管理指針、院内感染対策指針、医薬品業務手順書作成、医療機器保守・点検計画等業務手順書に基づき、医療安全に係わる管理者の役割や医療安全ミーティングの開催と議事録の保管、患者様からの苦情・相談の窓口情報の提供、医療事故やヒヤリ・ハット事例発生時の院内における報告の手順と対応、院内

感染防止マニュアルの作成などが盛り込まれたとのことでした。

関根眞一先生のご講演では、患者様からの苦情・クレーム対応のノウハウについて具体例からご教授いただき、また歯科医院向けに出版された院内感染マニュアル・院内安全マニュアル本の内容と各書式についてご講演いただきました。

末筆ですが、両先生には時勢の内容でご教授いただき心より感謝申し上げますとともに、関係各位のご協力に心より御礼申し上げます。また、同窓各位には今回の講演内容を参照され日々の診療にご活用いただければ幸いです。

学術常務理事 岩本 憲明(2期)



講師 関根 眞一先生

## 同窓会へのお誘い

皆さん、同窓会の存在意義とは一体、何なのでしょう。会則では、母校の発展と歯学の向上、会員の福祉増進、並びに会員相互の親睦を図り、併せて福岡歯科大学同窓会の発展を目的とするとあります。同窓会のすべてが含まれた素晴らしい文言だと言えます。中でも私がおもっても大切であると考えるのは会員相互の親睦だと思います。その親睦を図るために同窓会が出来る事は、その親睦の場を提供することだと思います。そしてその

場に出来るだけ多くの先生方に出席していただき、その場を通して同窓生同士の関係を親密に保つことが肝要ではないでしょうか。また、同窓生の輪を広げる為には、まず同窓会に入会しなければその場に参加することもできません。

同窓会主催の懇親会では堅苦しいことは一切ありません。何年ぶり、いや何十年ぶりの友に再会し、時の隔たりに関係なく学生時代の昔話で盛り上がり、大いに語り、笑えば

いいのです。その瞬間こそが同窓会の醍醐味だと思います。それは絶好のストレス解消になります。そして元気を取り戻し、明日からそれぞれの診療所に戻り、仕事も頑張れるのです。そして、同窓会役員にとっても、お世話をしたかったと思える瞬間ではないでしょうか。

同窓会がその一助になれば幸いです。

梶谷 剛(1期)

## 卒業生トーク「道」 中島 一記(27期)



医療従事者としての人間性を磨いています。

歯科医師になって『2年目』の年というのは、先輩方や同期の人たちをみても、『将来設計』について重要な時期だと思いました。1年目というのは、歯科の世界が右も左もわからない時期で、先輩先生達に引っ張って貰いながら、自分の道を探す年だと思います。2年目は、大体の歯科の流れを理解しつつ、将来の歯科医師像が見え始め、理想と現実の差をなくしながら、自分の道を作る年だと思っています。

実際、私の場合は、学生の時は「35歳で実家に帰り、父親みたいに、矯正歯科と一般歯科を治療できる歯科医師になりたい。だからそれまで8年間もあるのだから、じっくり学んでいくぞ!!」っと思って

ました。歯科医師になり最初の一年間で、その考えの甘さに打ちのめされました…。たった8年間で矯正の認定医をとり、一般歯科治療をし、経営の勉強をし、実家に帰ることがどんなに難しいことなのかとわかりました。

2年目に入り、少し周りが見えてきて、気持ちが落ち着きました。考え方も、根本的には変わらないけれど、まずは矯正歯科で精一杯やってみよう。そして時折、一般歯科と経営学の勉強をすること。そして30歳代で実家に帰るためには何が必要なのか?と現段階での目標を設けて、年に一度、自分なりに軌道修正をしていきたいと考えています。

そして今後も、学生時代に空手部とM.A.で培った『人間関係』を大切にしながら、目標に向かって、頑張っていきたいと思っています。



6年最後の歯学体で“準優勝”（右端が本人）

# 感謝



私は、18期卒業の重住と申します。クリニックは北九州市の小倉南区にあります。卒業して11年、開業して8年が経とうとしていますが、それまでにたくさんの友人や先輩にお世話になりました。

学生時代は福歯大の学費を払うのがやっとの貧乏学生で、学務課の皆さんや経理課の皆さんにはご迷惑をお掛けしましたが、良くして頂き、本当に感謝しております。

卒業してから間もなく、歯医者になったばかりの時でしたが勉強したいけど何をして良いか分からずお金もなかった時、11期の津野敬一郎先生や16期の濱田法康先生が勉強に誘ってくれて、たくさんのことを教えて下さり歯科医師としての基礎をしっかりと教えていただきました。

それから月日が経ち開業の時ですが、歯科医師会入会時も柔道部の先輩5期の村上 司先生にお世話になりました。村上先生とは2、3度柔道部でお会いしたことはありましたが、あまりお話ししたことはありませんでしたが福歯大の、柔道部の後輩ということだけで、あの開業して間もない不安な時にとても親切にして頂きました。あ、すみません、桜井紳司先生もありがとうございます。…その後もFDCの同窓の先輩方には良くして頂き、良い先輩に巡り会えて福歯大でよかったなあ実感しています。

これからはどんどん出てくる後輩達に、先輩方にして頂いたことをお返しのお気持ちをこめていろんな形で応援できたらなあと思っています。

本当に皆さんありがとうございます。

しげずみ歯科医院  
 (北九州市小倉南区)

重住 大乘(18期) = 文

写真上=医院外観  
 写真下=スタッフ、向かって左から3番目が私です。



# 私のこれからの課題



私は平成8年に福岡歯科大学を卒業し、矯正学講座にて5年間勉強させて頂き、認定医を取得後、平成13年4月に、はた矯正歯科医院に就職致しました。

秦俊二先生はご病気の治療を終えられ、これからの診療にとでも意欲を持っておられました。先生には矯正治療のテクニックはもちろん、カウンセリングの進め方や患者さんとのコミュニケーションのとり方なども教えて頂き、大変お世話になりました。先生が平成14年2月にお亡くなりになられた事は、先生の復帰を信じ、ますます学ばさせて頂こうと思っていた私にとって、とても辛く、悲しい事でした。その後、引き継ぎの治療を私が行っていくことになりました。当然ながら最初はとても大変でしたが、諸先輩方からの厳しくも温かいアドバイスを頂き、何とかやって参りました。現在では、私が治療を開始し、治療を終了した患者さんも少しずつ増えてきました。

矯正治療は治療期間が長く、装置によっては患者さんの協力なしでは治療が進まない事もあり、患者さんとのコミュニケーションがとても大事だと実感しています。最初の頃は、患者さんや親御さんに診断や治療について説明をしていて、自分で何を説明しているのか分からなくなり、患者さんに不安を与えたこともありましたが(今でもたまにあります…)。

最近では、より目立ちにくく、取り外しの利く装置、インビザラインも開発され、患者さんにとても喜ばれており、本院ではインビザラインによる治療に力を入れております。

患者さんの良い噛み合わせのために、さらに診断や治療について勉強し、それらを的確に説明をし、患者さんが安心して来院できるような環境作りをすることが、私のこれからの課題であります。

最後になりましたが、矯正治療の臨床を教えてくださいました秦先生、引き継いでから今までいろいろとアドバイスを頂いた諸先生方、本当にありがとうございました。そしてこれからも宜しくお願い致します。

もり矯正歯科  
 (福岡市早良区)

森 淳一郎(18期) = 文

写真上=診療室  
 写真中=インビザライン  
 写真下=スタッフと私





# 第 39 回 歯 学 体 結 果

第39回全日本歯科学学生総合体育大会(事務主管:松本歯科大学)の夏期部門が7月28日から8月8日にかけて長野県を中心に愛知県他で開催されました。今年は、バレーボール2位、バスケットボールが3位入賞を果たしました。参加校29校中、本学の総合順位は18位でした。優勝は愛知学院大学歯学部でした。

各クラブの成績は次のとおりです。  
(ラグビーフットボールは冬期部門、ボクシングはオープン競技、サーフインは全日本医科歯科学学生サーフィン選手権大会の結果です。)

参加クラブ	順位	
バレーボール	2位	女子バレー部門 準優勝
バスケットボール	3位	女子バスケット部門 優勝
ラグビーフットボール	4位	冬期部門
空手道	4位	
剣道	9位	
サッカー	10位	2回戦敗退
ゴルフ	12位	
硬式庭球	13位	男子12位 女子16位
硬式野球	1回戦敗退	
水泳	予選敗退	
柔道	予選リーグ敗退	
弓道	順位確定外	
ヨット	順位確定外	
バドミントン	順位確定外	
ボウリング	順位確定外	
ボクシング	準優勝	
サーフィン	Cクラス優勝、4位 6位	個人戦



男子バスケットボール

バレーボール



サッカー

ゴルフ



バドミントン

弓道



## オープンキャンパス 実施

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が開催されました。大学では、松浦教授(口腔インプラント学分野)による模擬授業や松家教授(生体工学分野)、早川教授(生化学分野)による模擬実習および教員や在校生を交えた昼食会が行われ、短大では車椅子体験や歯科診療実習室見学などが実施されました。



福岡歯科大学:模擬実習「DNAの析出と酵素分解」



短大・歯科衛生学科:在学生からのメッセージ



短大・保健福祉学科:介護技術体験

## 教職員ソフトボール大会

9月23日、平成19年度教職員ソフトボール大会が福岡歯科大学グラウンドで開催され、それぞれ教職員で構成される6チームが参加しました。決勝では口腔・顎顔面外科学講座のメンバーで構成される口腔外科チームと事務職員などのメンバーで構成されるジャパンセブンチームが対戦し、12対6でジャパンセブンチームが勝ち、優勝しました。



優勝したジャパンセブンチームの皆さん

# 平成20年度入学試験日程

福岡歯科大学					福岡歯科大学大学院 歯学研究所
区分	推薦入試日程	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	
募集人員	約15名	約46名	約10名	約10名	18名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.1.21(月)-2.13(木)	H20.2.12(火)-3.6(木)	H20.1.28(月)-2.15(金)
試験日	11月10日(土)	2月1日(金)	2月16日(土)	3月10日(月)	2月21日(木)
合格発表日	11月15日(木)	2月6日(水)	2月20日(水)	3月12日(水)	3月6日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a> E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp				

福岡医療短期大学・歯科衛生学科						
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(公募)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	約10名	約10名	約15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.11.1(木)-11.8(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.2.4(月)-2.21(木)	H20.3.3(月)-3.10(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月10日(土)	11月10日(土)	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	
合格発表日	11月16日(金)	11月16日(金)	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学・保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	約15名	約10名	約5名	約10名	若干名	若干名	若干名	約20名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.12.3(月)-12.13(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.2.4(月)-2.21(木)	H20.3.3(月)-3.10(月)	H20.3.14(金)-3.24(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月10日(土)	11月10日(土)	12月15日(土)	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	3月26日(水)	
合格発表日	11月16日(金)	11月16日(金)	12月20日(木)	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	3月27日(木)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

## 【福岡医療短期大学 歯科衛生学科・保健福祉学科Admission Office(AO)入学試験】

AO入学試験は、これまでの学力を重視した入学試験とは異なり、人物を重視した入学試験です。書類選考や面接をとおして受験生の意欲、目的意識や可能性などを総合的に評価します。

区分	説明及び申込み開始	エントリーカード提出締切	面接(1)及び課題提示	願書提出及び面談(2)	合格発表	入学手続締切
10月期	H19年10月20日(土)	H19年10月30日(火)	H19年11月2日(金)	H19年11月10日(土)	H19年11月16日(金)	H19年12月3日(月)
12月期	H19年12月8日(土)	H19年12月11日(火)	H19年12月13日(木)	H19年12月19日(水)	H19年12月21日(金)	H20年1月7日(月)

## 大学院RA、TA決定

福岡歯科大学大学院の平成19年度リサーチアシスタント(RA)及びティーチングアシスタント(TA)に次の方の採用が決定され、7月30日辞令交付式が行われました。(年額27万円を限度に手当が支給されます。)

### ◇リサーチアシスタント(RA)

- 第4学年 岩橋 輝明(口腔腫瘍学)
- 第4学年 大櫛 幸子(矯正歯科学)
- 第4学年 崔 旭鎮(矯正歯科学)
- 第4学年 徳富健太郎(冠橋義歯学)
- 第4学年 中尾 彰宏(口腔腫瘍学)
- 第4学年 福成 史子(画像診断学)
- 第4学年 森永 健三(口腔インプラント学)

### ◇ティーチングアシスタント(TA)

- 第3学年 植木 猛士(矯正歯科学)
- 第3学年 吉田 智治(矯正歯科学)
- 第2学年 岩澤 佳奈(矯正歯科学)
- 第2学年 長谷川 綾(矯正歯科学)
- 第2学年 松本 典祥(歯科保存学)
- 第2学年 向坊 友宏(矯正歯科学)
- 第1学年 岩元 知之(総合歯科学)
- 第1学年 来海慶一郎(口腔外科学)
- 第1学年 佐々木美智子(冠橋義歯学)
- 第1学年 中島 一記(矯正歯科学)
- 第1学年 中山 修二(口腔外科学)
- 第1学年 畑 実(障害者歯科学)
- 第1学年 福岡 宏士(冠橋義歯学)
- 第1学年 別府 健介(口腔インプラント学)
- 第1学年 山口 和勇(生化学)
- 第1学年 吉田 兼義(有床義歯学)

## 学園敷地内全面禁煙について



喫煙は喫煙者本人の健康を害するばかりでなく、間接喫煙により非喫煙者にも健康被害をもたらすことから、禁煙の推進が社会の趨勢となっています。

このような流れを受け、本学園では建物内禁煙の実施や喫煙所の縮小等を進めてきました。また、本学は広く社会の健康と福祉を守る立場にある医療人、福祉従事者を養成する教育機関です。については、医療等に携

わる者として自らの健康はもとより、広く社会全般の健康を守る観点から、禁煙をさらに徹底し、快適なキャンパスを目指すため平成19年12月1日(土)より学園敷地内の全面禁煙(患者様を除く)を実施します。

教職員及び学生はもとより来学されるみなさまも、趣旨を良くご理解のうえご協力ください。

なお、周辺の路上禁煙についてもご協力いただくようお願い申し上げます。